

## 2. 融合・連携施策の本格的展開とハード・ソフト施策の戦略的組合せ

### (1) 融合・連携施策の本格的展開

国土交通省の幅広い守備範囲や多様な政策手段を活かし、他府省との連携・調整を含めた施策の総合的展開や、都市整備、防災、水循環、交通連携、交通安全等に係る施策の本格的な融合・連携を強力に進める。

#### < 主要な融合・連携施策 >

( 事業費・国費 )

##### 【都市の再生】

- ・ 空港・港湾等の拠点と道路・鉄道等のアクセスの強化 ( 2,733億円・1,708億円 )
- ・ ボトルネック踏切の除却・改良、TDM施策の推進等による都市交通の円滑化 ( 6,376億円・2,005億円 )
- ・ 鉄道駅等交通結節点の機能強化 ( 1,425億円・ 594億円 )
- ・ 土地の流動化・有効利用の推進 ( - ・ 225億円 )
- ・ 大都市居住者の通勤時間短縮と快適化 ( 8,990億円・3,252億円 )
- ・ 水害・土砂災害・高潮等に対して脆弱な都市構造の打破 ( 8,285億円・4,834億円 )
- ・ 広域防災拠点ネットワークの形成 ( 185億円・ 147億円 )
- ・ 海陸一体型都市型犯罪監視取締りシステムの構築 ( - ・ 16億円 )

##### 【環境問題】

- ・ 低公害車の開発・普及の促進 ( - ・ 46億円 )
- ・ 大気常時観測局の設置及び測定結果の活用・公表 ( 29億円・ 20億円 )
- ・ モーダルシフト等の推進 ( - ・ 30億円 )
- ・ 多様な自然共生型河川への転換等自然と共生する国土の実現 ( 2,449億円・1,430億円 )
- ・ おいしい安全な水の確保 ( 261億円・ 132億円 )
- ・ 総合的な静脈物流システムの構築 ( 612億円・ 165億円 )
- ・ 流域一貫となった総合的な土砂管理等の推進 ( 393億円・ 279億円 )
- ・ 第3回世界水フォーラム閣僚級国際会議の開催 ( - ・ 1億円 )

##### 【少子・高齢化】

- ・ 公共交通機関・歩行空間等のバリアフリー化の推進 ( 6,047億円・2,231億円 )
- ・ 福祉との連携による高齢者等の居住の安定確保の推進 ( 825億円・ 340億円 )

##### 【地方の個性ある活性化・まちづくり】

- ・ 水辺等の交流拠点整備 ( 375億円・ 203億円 )
- ・ 大学を核としたまちづくり事業の推進 ( 1,760億円・ 750億円 )

##### 【IT国家の実現】

- ・ 光ファイバ-収容空間ネットワークの整備によるFTTH(ファイバ-ツ-ザ-ホーム)の支援 ( 1,520億円・ 859億円 )
- ・ 防災分野のIT化の推進 ( 420億円・ 271億円 )
- ・ 輻輳海域における高度航行支援システムの整備 ( 12億円・ 12億円 )

##### 【人流・物流の実現(再掲)】

- ・ 空港・港湾等の拠点と道路・鉄道等のアクセスの強化 ( 2,733億円・1,708億円 )
- ・ モーダルシフト等の推進 ( - ・ 30億円 )

##### 【安全・安心の確保(再掲)】

- ・ 水害・土砂災害・高潮等に対して脆弱な都市構造の打破 ( 8,285億円・4,834億円 )
- ・ 広域防災拠点ネットワークの形成 ( 185億円・ 147億円 )
- ・ 海陸一体型都市型犯罪監視取締りシステムの構築 ( - ・ 16億円 )
- ・ 防災分野のIT化の推進 ( 420億円・ 271億円 )
- ・ 輻輳海域における高度航行支援システムの整備 ( 12億円・ 12億円 )

## (2) ハード・ソフト施策の戦略的組合せ

施設整備等のハード施策に情報・施設マネジメント等のソフト施策を戦略的に組み合わせることにより、施設整備のみでは達成困難な施策効果を効率的に達成する。

### < 主要なハード・ソフト対策の一体的実施施策 >

- ・ 防災情報の提供と防災施設の整備によるハード・ソフト一体となった危機管理体制の充実
- ・ 大都市の国際港湾機能の強化
- ・ ボトルネック踏切の除却・改良、TDM施策の推進等による都市交通の円滑化
- ・ 水害・土砂災害・高潮等に対して脆弱な都市構造の打破
- ・ 総合的な静脈物流システムの構築
- ・ 公共交通機関・歩行空間等のバリアフリー化の推進
- ・ 登録住宅等に係るLSA(生活援助員)制度の拡充及びLSA活動拠点施設の整備
- ・ ITS(高度道路交通システム)の推進